

われら小千谷市消防団

No. 40

団報 火の見やぐら

火事と救急は119番

発行 小千谷市消防団本部（広報部）

2023年10月号



北魚沼地区支会ポンプ操法競技会

令和5年4月から令和5年9月まで主な活動内容

4月・春の火災予防運動

- ・辞令交付式
- ・新入団員研修及び幹部等訓練
- ・一人暮らし高齢者宅防火訪問
- ・信濃川河岸段丘ウォーク参加

5月・観桜会・消防庁長官表彰祝賀会

- ・北魚沼地区支会訓練会
- ・大河津・長岡・越路地区合同水防訓練

6月・北魚沼地区支会ポンプ操法競技会

7月・新潟県消防大会ポンプ操法競技会

9月・片貝まつり花火大会特別警戒

消防団長挨拶

この度、令和5年4月1日付けで小千谷市消防団長の拝命を受けました間野修です。

消防団員の皆さんにおいては、日頃より献身的に消防団活動をしていただき心より感謝申し上げます。

またこの度、消防団長就任にあたり消防団の取り巻く環境の変化や多様化する災害を踏まえ身の引き締まる思いと職責の重さを感じております。



さて消防団は地域における消防防災のリーダーとして平常時、非常時問わずその地域に密着し、地域住民の安心、安全を守るという重要な役割を担い地域防災の中核として大きな期待を頂いております。よって消防団は日頃より訓練を重ね災害時には迅速に活動が出来るよう準備をしておく必要があります。しかしながら前年度までのコロナ禍では相次いで事業等の中止により防災力の低下が懸念される中、規模縮小により訓練、研修を重ね防災力の維持を図って来ました。

消防団は、今後もさまざまな災害に備えて適切に対応出来るよう技術、知識の習得に努め組織の充実強化を図るとともに消防本部や地域住民との連携を深め、地域の安心、安全と郷土の繁栄の為、微力ではありますが職責を果たして参りたいと思いますので皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

春の火災予防運動

春の火災予防運動が4月1日(土)から7日(金)の期間で行われました。今年のスローガンは『**火を消して 不安を消して つなぐ未来**』です。連日各分団による防火広報が行なわれました。

辞令交付式並びに幹部団員等訓練及び新入団員教育訓練

4月9日(日)、消防本部3階講堂に於いて消防団員辞令交付式が行われました。

始めに昇任された幹部に、次いで新入団員1人1人に間野団長から辞令が手渡され、新入団員を代表して第1分団第5部の庭野至宙さんが緊張の中、宣誓書を読み上げました。



間野団長より辞令交付



宣誓書の読み上げ

その後新入団員は、職員の方から講義を受け、終了後庁舎裏へ移動して規律訓練と機械器具取扱訓練を受け半日の基本研修が終了しました。

新入団員の皆さんは慣れない訓練で大変だったと思いますが今後の消防団活動に励んでもらいたいと思います。



また幹部及び女性消防団員はそれぞれに分かれて訓練礼式を行いました。幹部の皆さんは後輩への指導もよろしくお願いいたします。



一人暮らし高齢者宅防火訪問

令和5年春の火災予防運動に伴う一人暮らし高齢者宅訪問が行なわれ、女性部からは4月24日(月)午前到大淵分団長が、翌25日(火)午後には阿部団員が参加しました。

今年は東小千谷地区、塩谷地区を回り、防火チラシの配布並びに防火指導等を行いました。

ポンプ操法個別指導会

4月27日(木)、消防本部に於いてポンプ操法個別指導会が行われました。

当日は6月に行われる第59回北魚沼地区支会ポンプ操法競技会に出場する第2分団、第6分団、第8分団の選手、幹部、サポートの団員が参加し本団訓練部、消防本部警防係より指導が行われました。

終了後にはこれからの長い練習に向けて団長より各分団に分協会からの激励金が手渡されました。



防火ウォーク

4月29日(土)、信濃川段丘ウォークへ参加し防火広報を行いました。

今年は残念ながら都合がつかず、女性部の参加は村田団員のみとなりました。本団からは渡部、吉原、佐藤、関が参加し、ティッシュ等を配布しながら防火を呼びかけました。

今回は初めて発電所への見学コースに回ってみま



した。思った以上に賑わっていて出店等もありました。なかなか発電所内を見る機会も無いので楽しめた上に、シンカリオンとの記念撮影も行えたので、子供連れも楽しめそうです。

その後通常コースに戻った一行、今年も無事に完歩することが出来ました。



観桜会及び消防庁長官表彰記念祝賀会

5月2日（火）、観桜会及び消防庁長官表彰記念祝賀会がホテルプラザ片山に於いて行われました。この度、消防庁長官定例表彰を授章された久賀副団長と竹部分団長におかれましては、大変おめでとうございます。引き続き後進のご指導よろしく申し上げます。

また、消防本部の幹部の皆さん、団本部員、各分団長、副分団長も一堂に会し、情報交換や親睦を深める良い機会となりました。



令和5年度北魚沼地区支会訓練会

5月14日(日)、北魚沼地区支会訓練会が広神コミュニティーセンター・広神体育センター、魚沼市消防本部を会場に行われました。

初級幹部は座学を受講後、規律訓練・部隊訓練を行った後ラッパ隊と合同訓練を行い半日の訓練が終了しました。



ポンプ操法は、魚沼市消防本部にて県の審査員による指導が行われました。

小型ポンプでは第8分団が実技をしながら競技会での注意事項などの指導を受けました。



また、小千谷市消防本部では機関員講習が行われ、基礎講座、水力学・構造の座学を受けた後、ポンプ車と小型ポンプに分かれて職員の指導の下、実際に機器操作しながらの実技講習が行われました。



令和5年度大河津・長岡・越路地区合同水防訓練

5月21日（日）、市内高梨地先（越の大橋下流左岸河川敷）に於いて令和5年度水防訓練が行われました。

今年は第1分団、第3分団、第5分団が参加し最初に基本訓練として土のう作り、縄結びの訓練を行いその後、方面隊長指揮のもと第1分団は月の輪工、第3、5分団はT型マット工を行いました。



当日は開始時から気温が上昇し厳しい状況下での訓練となりましたが体調を崩す団員もなく参加分団共に実りある訓練が出来ました。

北魚沼地区支会役員及び団幹部研修会

7月8日(土) 支会役員及び団幹部の研修会が行われました。

今年度は魚沼の文化遺産と越後の名酒・酒蔵見学の内容で魚沼市の玉川酒造・越後ゆきくら館、目黒邸の視察を行いました。

玉川酒造・越後ゆきくら館ではガイドの方より寛文13年(1673年)第四代将軍徳川家綱公の時代より続く酒造りについてや大吟醸が眠る雪中貯蔵庫の説明を受けました。

目黒邸では寛政9年(1797年)に11代五郎助が建てた、割元庄屋の役宅をかねた豪農住宅を見学しました。豪雪地帯の農家の特徴を備え、近世村役人層の典型的な住宅として貴重な遺構となっています。

どちらも歴史ある名所となっていますので皆さんも是非訪れてみてください。



令和5年度火消会親善ゴルフコンペ

7月23日(日)、小千谷カントリークラブに於いて火消会親善ゴルフコンペが行われました。

10名の参加で18ホールストロークプレー、6ペリア方式で競技を行い、見事岩淵予防課長が優勝を飾りました。



第59回魚沼地区支会ポンプ操法競技会

6月25日(日)、魚沼市役所本庁舎職員駐車場に於いて北魚沼地区支会ポンプ操法競技会が行なわれました。コロナ禍においてここ数年は中止されていたため実に4年ぶりの開催となりました。

当市消防団からは小型ポンプ操法に第6分団と第8分団が、ポンプ車操法に第2分団が出場しました。各分団とも長期に及ぶ厳しい練習の成果を発揮し、成績以上に得るものがあったかと思えます。選手の皆さん大変お疲れさまでした。



小型ポンプ操法の部

優勝

第8分団



小型ポンプ操法の部

3位

第6分団



ポンプ車操法の部

2位

第2分団



北魚沼地区支会ポンプ操法競技大会成績

【ポンプ車の部】

順位	出場隊名	総合得点	出場順
1	魚沼市消防団 第1分団第3部	126.50	1
2	小千谷市消防団 第2分団	124.75	2

【小型ポンプの部】

順位	出場隊名	総合得点	出場順
1	小千谷市消防団 第8分団	79.00	4
2	魚沼市消防団 第10分団	75.25	2
3	小千谷市消防団 第6分団	67.00	3
4	魚沼市消防団 第1分団第5部	63.75	1

個人賞 ポンプ車操法の部

指揮者	魚沼市第1分団第3部	友野祐輔
1番員	小千谷市第2分団	西牧豊
2番員	小千谷市第2分団	濁川達也
3番員	魚沼市第1分団第3部	太田茂幸
4番員	魚沼市第1分団第3部	渡邊進

個人賞 小型ポンプ操法の部

指揮者	小千谷市第8分団	小宮賢人
1番員	小千谷市第8分団	丸山拓也
2番員	魚沼市第10分団	尾沢東
3番員	魚沼市第10分団	目黒雄大

第74回新潟県消防大会ポンプ操法競技会

コロナによる中止が続き4年ぶりの開催となった操法県大会。今回は吉原訓練部長よりコメントをいただきました。(以下)

8月6日(日)見附市立西中学校グラウンドに於いて第74回新潟県消防大会ポンプ操法競技会が行なわれ、ポンプ車操法の部9チーム、小型ポンプ操法の部18チームが出場し、北魚沼地区支会からは小千谷市消防団第8分団が小型ポンプ操法の部へ出場しました。

今大会からルールが改定され規律面が削られ「操作始め」からの競技となりました。また、今までと違ってグラウンドでの操法大会の為、ゴムマットを敷いての競技となり、前日練習では各選手とも念入りに足元を気にしながらの練習を行っていました。

第8分団は4月から週3回の練習を行い、『県大会優勝』を目標に頑張ってきました。惜しくも優勝には手が届きませんでした。猛暑の中訓練を行ってきた消防操作の技術と災害に立ち向かう消防の勇姿を披露できたと思います。

今大会は競技での変更が多数あり、様々な面で今後の訓練方法に繋がる大会だと思っています。来年も県大会出場を目指し訓練部一同頑張っていきたいと思いますので、各分団におかれましても規律、ポンプの取扱い、ホースの手びろめなどの訓練を行うようお願いいたします。

小千谷市消防団本部訓練部長 吉原 章



片貝まつり花火大会特別警戒

9月9日(土)、10日(日)両日、片貝まつり花火大会に係る特別警戒が、花火大会会場に於いて実施され、地元消防団と団本部、女性部が会場および周辺の警戒に当たりました。

編集後記

コロナもやや落ち着き、行事関係はほぼ通常通りの開催となりました。あわせて、団報の年2回発行も復活と相成りました。暑い夏も過ぎ去り、バタバタ続きの毎日の中ではありますがなんとか形にできました。暑いといえば、もちろんコロナも気を付けなければなりません。近年は熱中症対策にも十分気を配らないなりません。いろいろと大変な世の中になって来てはおりますが、頑張っ乗り越りたいと思います。

団報 火の見やぐら No. 40

発行 小千谷市消防団本部
事務局 小千谷市消防本部総務課内
住所 小千谷市城内3丁目1番9号
TEL 0258-83-0236
FAX 0258-82-0209

Eメール syobou-soumu@city.ojiya.niigata.jp

団報火の見やぐらは市のホームページにも
掲載されています。
右のQRコードから是非チェックしてみ
てください。

